

地域振興計画(案)及び学校跡地利用計画(案)の中間報告！

横田地区の近未来の夢とその実現を！

旧横田小学校の校舎や校庭から子どもたちの元気な声が響かなくなって、1年6ヶ月余りが過ぎました。

今年4月以降、横田振興会が校舎等の管理委託を受け、各福社区持ち回りでグラウンドや中庭の草刈りを行ってきています。しかし、「子どもたちのために！」「孫たちのために！…」という意識は無くなり、何となく負担だけを感じる作業になっています。

台風21号で、小学校の屋根に設置してあったサイレンが吹き飛んで壊れてしまい、そのサイレンを聴くこともなくなり、益々旧小学校の存在は、私たちの意識の中から消えて行っているのではないかと、そんな懸念をしている昨今です。

このように、元気の出ない話題ばかりが多い、そんな地域の事情は益々進んでいます。

高齢化が進み、子どもの数も減っていますが、でも、こんな地域だからこそ、現に住んでいる私たちが、智慧を出し合い協力して、地域を守り、次の世代にしっかりと受け継いでもらえる、そんな地域を創りだすことが求められていると思います。

ご承知のとおり、旧高田郡6町の合併に伴い、住民一人ひとりの「自治」「自立」の自覚と相互の協力により地域の振興を図るため、「地域振興会」の組織化が提示され、横田地区にも「横田振興会」が誕生しています。

そして、今年の春、約1ヶ年の検討を経て、「横田の里いきいきプラン」と名付けた構想案が提示され、公開されました。

その概略は、住民一人ひとりが健康生活を第一に心がけ、健康づくりをテーマにしたさまざまな事業や活動を通して、「誰もが元気で、いきいきと輝き続ける」里づくりを目指すという夢の提案です。

そして、この里づくりの拠点として、旧横田小学校の跡地に「横田の里いきいきセンター（仮称）」の建設整備を構想し、その計画案も提案しています。

以下、この「横田の里いきいきセンター」の構想について、再度提案します。あらためて、地域のあちらこちらで、機会あるごとに議論を起こしていただき、誰もが健康で、いきいきと輝いている里づくりに、一層一丸となり前進できたらよいと願っています。

1. いきいきセンターは、どんなことをするところ？（基本構想）

旧横田小学校の跡地に建設を構想している「横田の里いきいきセンター」は私たちの「健康生活」や「子育て」「障害者の昼間の生活」の安心を届けることのできる役割と働きを持った「保健福祉センター」的な施設と、住民一人一人が自らの健康生活にかかる活動をする「地域交流センター」的な役割を持った施設を併設することを構想しています。

また、この二つの機能をもったセンターには、その機能をより効果的に果たすために、医療機関等より専門的な機能をもったバックアップの体制づくりの構想も描いています。



2. 「保健福祉センター」的な役割を持った施設とは？

- ① 健康生活や子育てなど保健・福祉にかかわる「総合相談」及び医療機関をはじめ専門の機関などとのネットワークを持ち、専門的で高度な相談の窓口の役割を果たせる施設です。
- ② 高齢者、障害者、乳幼児の「デイサービス」や「訪問看護」の機能のほか、フィットネス、エステ、スポーツ・トレーニング等々、住民が自らの健康生活づくりのために活動し利用できる設備を整えた施設です。
- ③ これらの機能は、横田地区の住民をはじめ、旧美土里町域や高宮町域など安芸高田市北部に生活している住民が、利用できるための施設です

3. 「地域交流センター」的な役割を持った施設とは？

横田地区の地域振興のため、横田地区「地域振興計画」(案)に示した4つの領域で、その計画に基づき、住民が知恵を出し、協力しあい、さまざまな活動と交流を進める役割とその場を提供する施設です。

- ① 「うるおいとゆとりのある健康生活づくり」のテーマの下、「人生に、もう一つ趣味を！」という様々なグループやボランティア活動の拠点としての機能やそのスペースを持った施設です。
- ② 「自然と巧みに共生して暮らす里づくり」をテーマにした産業振興や環境問題等に取り組む種々のグループの拠点としての機能やそのスペースを持った施設です。
- ③ 歴史と伝統を大切に、「文化の香りのする里づくり」をテーマにした多様な芸術、文化活動に取り組む様々なグループの拠点としての機能とスペースを持った施設です。
- ④ 「夢を持ち、心豊かな人を育む里づくり」をテーマにした活動や取り組みの拠点としての機能とスペースを持った施設です。

- ⑤ これらの機能を果たすため、「談話室」「資料室」「研修室」「展示室」「作業室」「交流室」などのスペースを持った施設を考えています。
- ⑥ グラウンドの整備を行い、スポーツ交流のできるスペースや子どもたちの遊べる児童公園のようなスペースの整備も行います。

4. センターのふたつの機能のバックアップ体制とは？

保健・福祉センターや地域交流センターの事業や活動をより効果的に展開し、その効果を高めるため、次のようなバックアップの体制づくりの計画を構想し夢を描いています。

- ① 旧小学校の跡地に、小児医療を中心にした医療機関（病院または診療所）の誘致を図り、子育ての安心を届ける体制の整備を図ることを描いています。
- ② 現在の横田診療所、歯科診療所に加え、前記した小児医療機関の医療ゾーンをつくり、さらに吉田病院をはじめとする総合病院や各専門病院とのネットワークづくりを行い、センターのふたつの機能のバックアップを図ることを構想として持っています。

5. 将来を見越した夢をつくり、その夢を形にするプランづくりを！

- 1) 横田地区の現状は、少子高齢化が進み、農業も衰退し発展的な状況がなかなか見当たりません。
しかし、一つ視野を変えてみると、高速道路が通じていて、すでに東西への移動は大変便利になっています。直線的ではありませんが、広島市の中心部まではバスで60分という通勤圏に位置しています。また、整備が進んでいる54号線、完成すれば安佐北区や南区の中心地への通勤は十分可能になります。
さらに、計画されている東広島市方面への高規格道路の整備が進めば、東広島市西条あたりも通勤圏ということも可能になります。
決して、山奥で不便で住みにくい地域ということばかりではなくなります。
- 2) 周囲を何のへんてつも無い山と田んぼに囲まれた地域で、たしかに「天与」のものはなかなか見当たらない地区です。でも、その自然を大切にしながら、巧みに共生する知恵を出し、工夫してみるだけの価値はある地域です。
ただ、一人ひとりがばらばらになっていたのでは、こうした試みも長続きせず、結果的には失敗したり、途中で断念するという結果に終わってしまいます。
現にそこに住む私たちが、特にこれまでこの地にずっと住まいし、さまざまな困難を乗り越えながら、しっかりとがんばってきた年配者が、とにもかくにも元気であることと、互いに知恵と経験を交流し、協力して試み、実践することが大切なのだと思います。
お互いに、さまざまな体験から、いろいろな想いや意見を持っておられると思います。プラス思考の立場から、あらためて横田地区の地域振興という土俵に立ち、知恵の結集と協働の活動や作業にチャレンジしましょう。

6. 建設的、意欲的なご意見やご助言をお待ちしています！

旧横田小学校の跡地の活用計画やそれに関連する横田地区の振興計画の策定について、その案の作成の任務を負っているのは総務部です。

さまざまなご意見やご助言、ご批判は、下記の総務部員にお寄せください。また、各福社區の役員まででも構いませんのでよろしくお願い致します。

六 信 守 (第1福社區)	中 川 隆 士 (第2福社區)
下 原 英 治 (第3福社區)	井 上 学 (第4福社區)
三 上 正 浩 (第5福社區)	松 井 徹 (第4福社區)
室 坂 賢 三 (第4福社區)	中 迫 大 介 (美土里支所)

たくさんのご意見等、お待ちしておりますのでよろしくお願い致します。

なお、3月に配布した「横田地区振興計画（いきいきプラン）」（案）ならびに旧横田小学校跡地計画（案）がご入用な方がおられましたら、上記の者にご連絡ください。



ふれあいの家たんぼぼの新築に伴い、空調設備一式を高年齢者コミュニティセンターに寄贈していただきました。
お礼をかねご報告申し上げます。

今年も横田地区にイルミネーション点灯！
県道沿い宮本さん宅前「中横田を元気にする会」また、梶間さん宅牛舎付近「竹の子会」のみなさんが、いずれも11月28日点灯予定！
どうぞお楽しみください。

旧横田小学校（鉄棒付近）に焚き木が置いてありますので、とんど等で自由に使用してください。